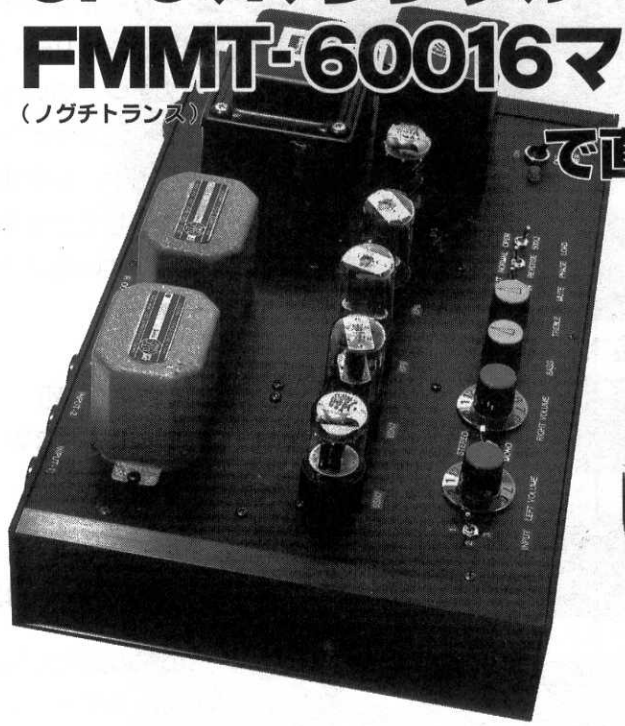
（2014年4月号）

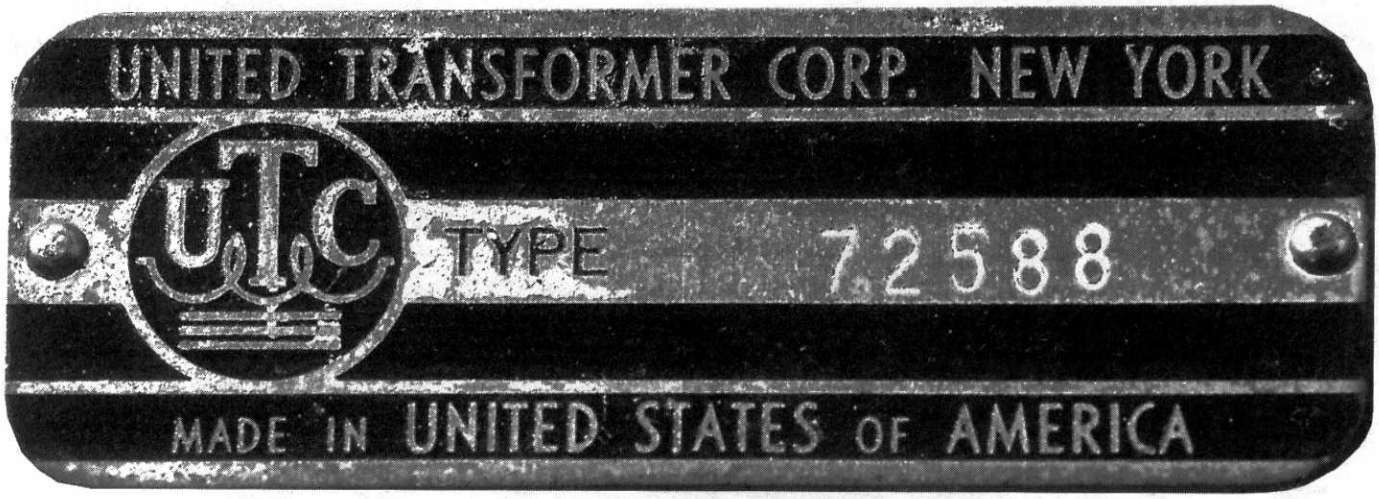
6F6(T)シングル-ライン・アンプ+FMMT-60016マッチングトランス（ノグチトランス）で直接スピーカを鳴らす



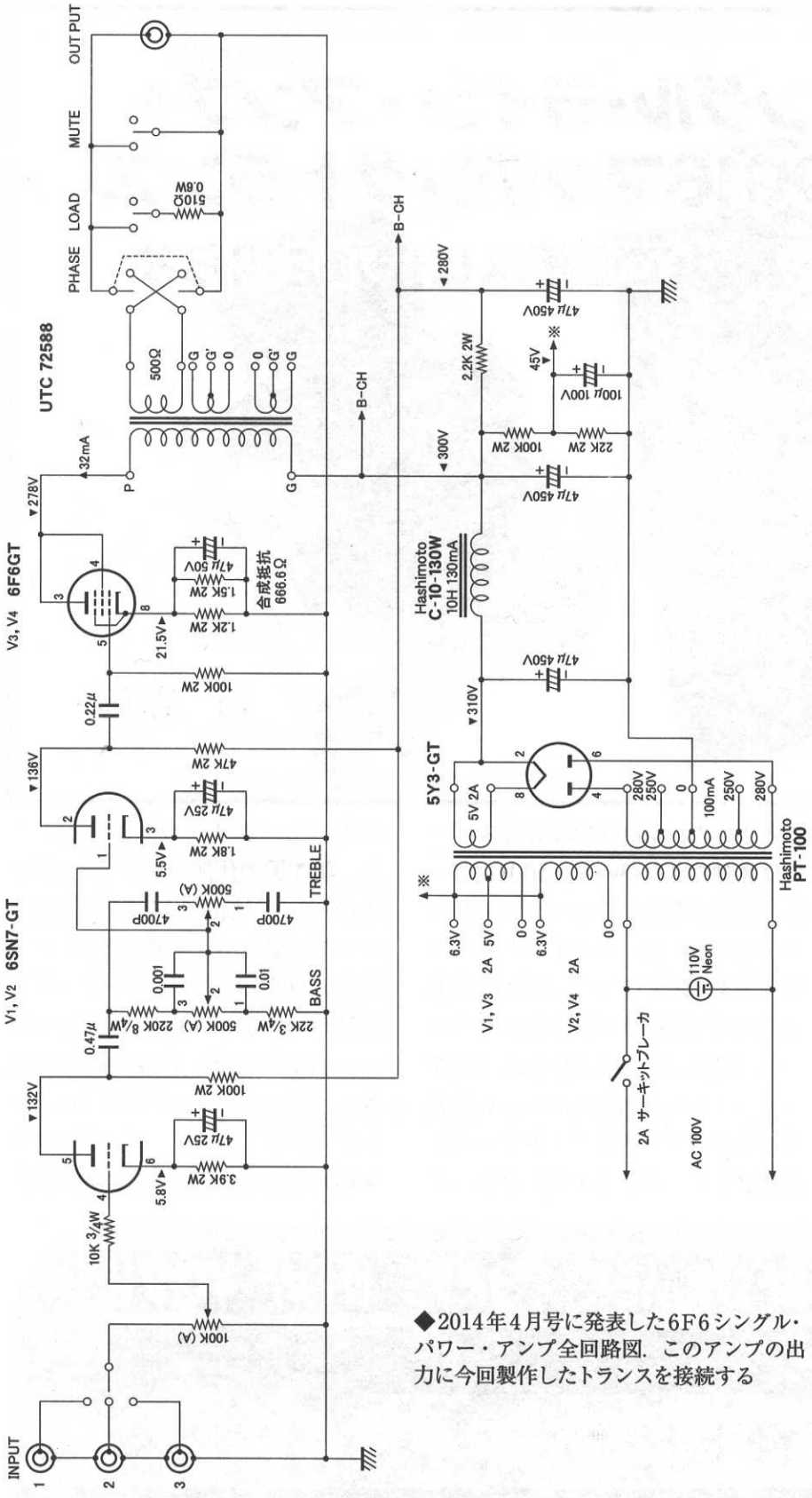
新　忠篤

4月号に発表したUTC72588（S-8）ライン・トランス搭載のT／C付ライン・アンプに組み合わせるB_2級パワー・アンプの製作にまだ取りかかれない状況にあるため，今月は，このライン・アンプだけでスピーカを鳴らした報告をさせていただく．

4月号にライン・アンプのクリッピングが500Ω負荷で15Vになり，これを電力換算すると0.45Wになると書いた．500Ωでは直接スピーカは駆動できないので，500Ω：4−8−16Ωに変換するマッチングトランスを用意した．この手のトランスはWEの初期のアンプ，例えばWE42型やWE46型（共に205Dプッシュプル）を鳴らすときに使われたWE7Aオートトランスがあるが，もう手元にない．マッチング・トランスを是非ファインメット・コアでやってみたいとノグチトランスに話したら，**第1図**の仕様のトランスが出来上がった．外観はFM-6WSと同じサイズの黒色バンド型である．タカチのCH型コントロールボックスCH6−8−14（110W×55H×140Dmm）に搭載した．600Ω側はRCA端子，スピーカは2Pバナナのバインディング・ポスト．インピーダンス切り替えはNKKの2回路3接点



◆6F6シングル・パワー・アンプに使ったUTCの出力トランス72588のネームプレート



◆2014年4月号に発表した6F6シングル・パワー・アンプ全回路図．このアンプの出力に今回製作したトランスを接続する

型M2040スナップSWである．

電気特性

試聴の前にこのマッチング・トランスを通した電気特性を測定した．

(1) 雑音ひずみ率特性(第2図)

測定は8Ωで行った．クリッピングは0.3Wから始まった．その時のTHDは2.0%．THDの成分は第2次高調波である．第3次高調波は0.13%と20dB以上低かった．

(2) 周波数特性図(第3図)

トーンコントロールをフラット位置にして測定した．20Hz～30kHzが−3dB．私のアンプのいつもの特性．これをナローだカマボコだと貶す人によく出会うが，音を聴いていただけば，必要にして十分な特性を備えていると感じていただけるはずだ．

(3) 入・出力特性(第4図)

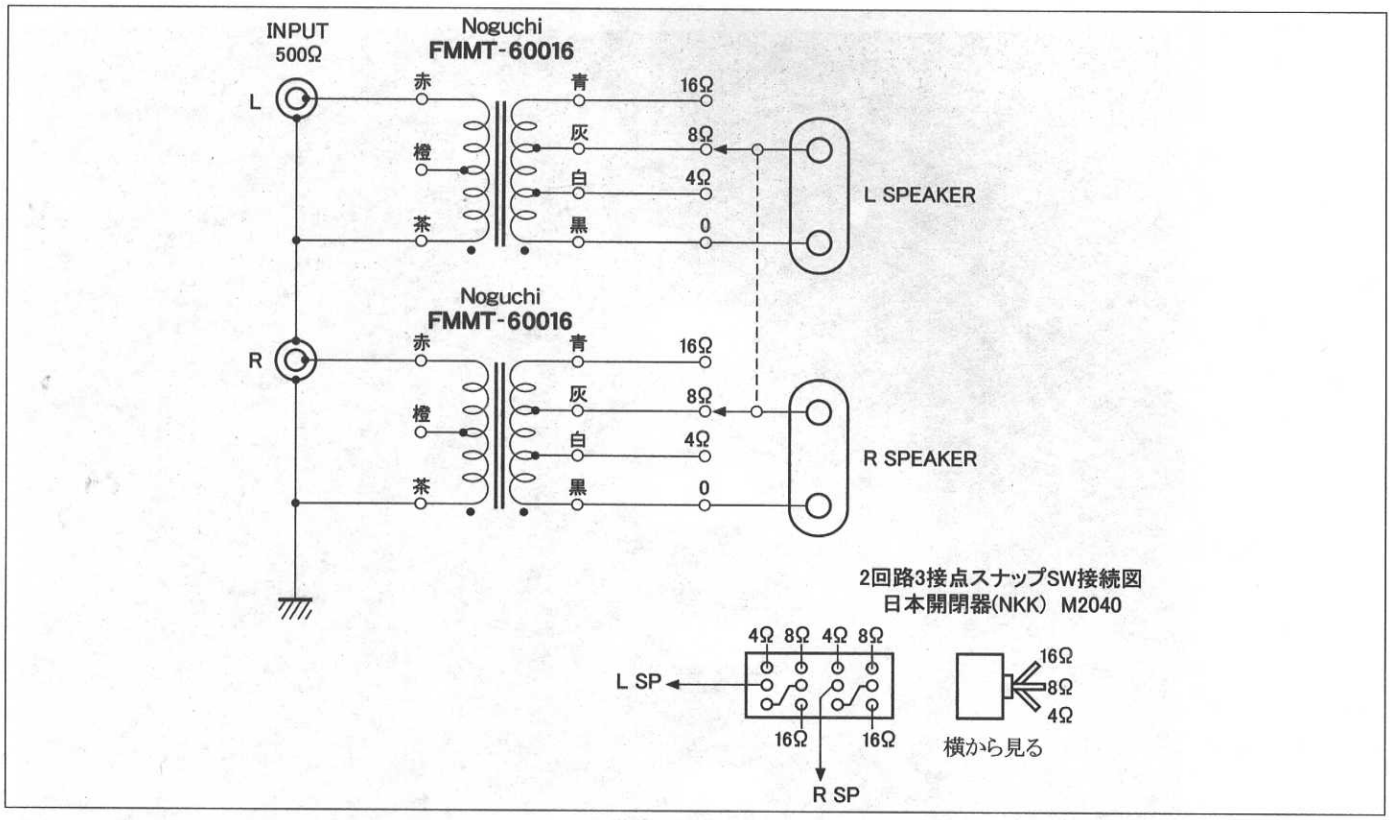
クリッピング開始の0.3W時の入力電圧は0.73Vだった．

傍熱管ミニワット・アンプは滑らかな肌ざわりが心地よい

4月号の試聴記の見出しに，圧倒的な躍動感をもたらすライン・アンプと書いた．ビフレステック社のタマゴ型スピーカD'Egg／TGA-1B 1／bと組み合わせたMcAUDI M602デジタル・アンプの前に本機を置いた．わが家への訪問者は最初WE555+GIPのメインスピーカが鳴っていると思っていた．デジタルアンプだけでは出ない音のコクや味わいがライン・アンプによって引き出されているようだった．

ファインメット・コアのマッチング・トランスFMMT-60016を通して300mWのT／C付プリメイン・アンプに変身した本機は，これまで私が製作してきた直熱管の極小出力アンプ，例えば31シングル，VT-2シングル，101Dシングルと同様の出力ながら，音色はかなり異なっているように感じた．その差を一口で言うと直熱管の音は，細かな線で構成される版画のようで色彩も淡い．一方本機は油彩画風のシットリとした風合いが持ち味である．

試聴したCDは「白上 冴&吉田ま

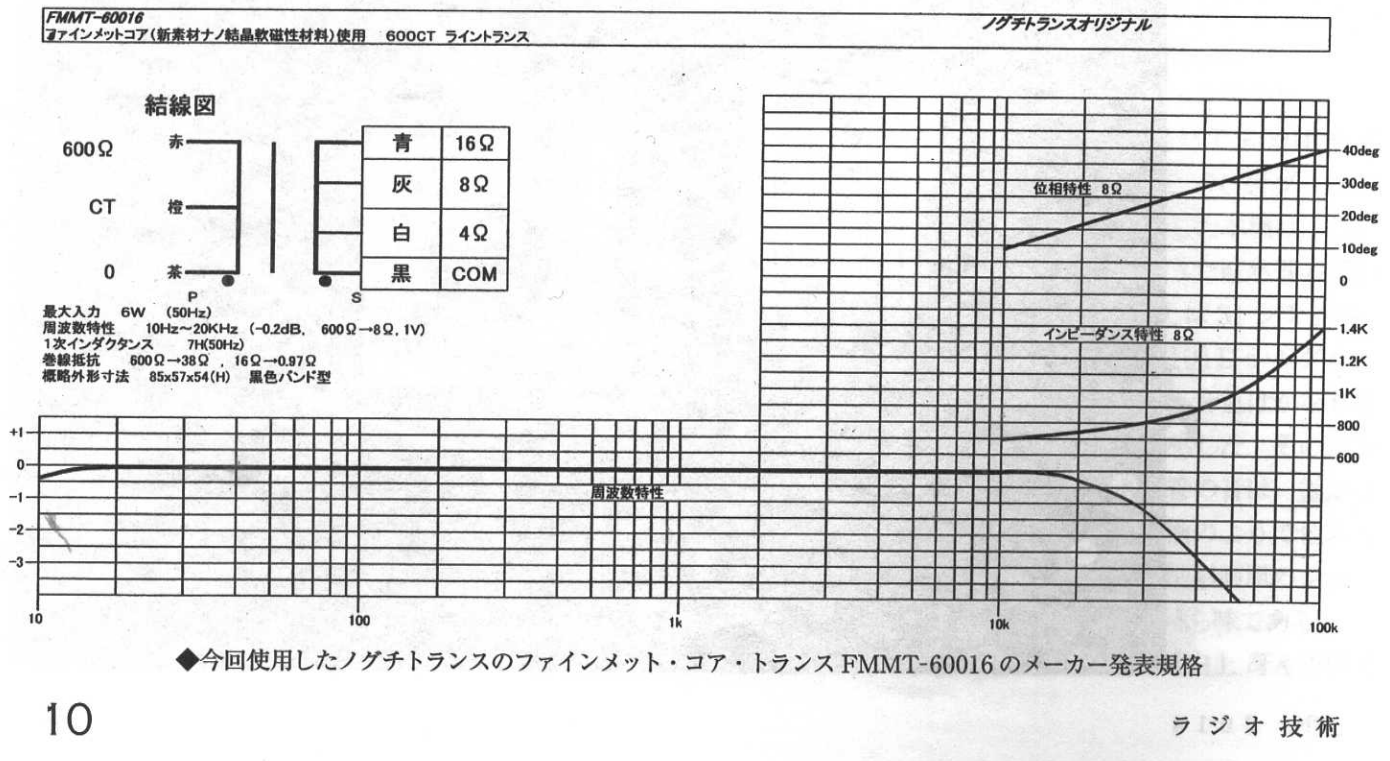


〈第1図〉ファインメット・コア・トランス FMMT-60016 を採用し 6F6 シングル・アンプ用マッチング・トランス

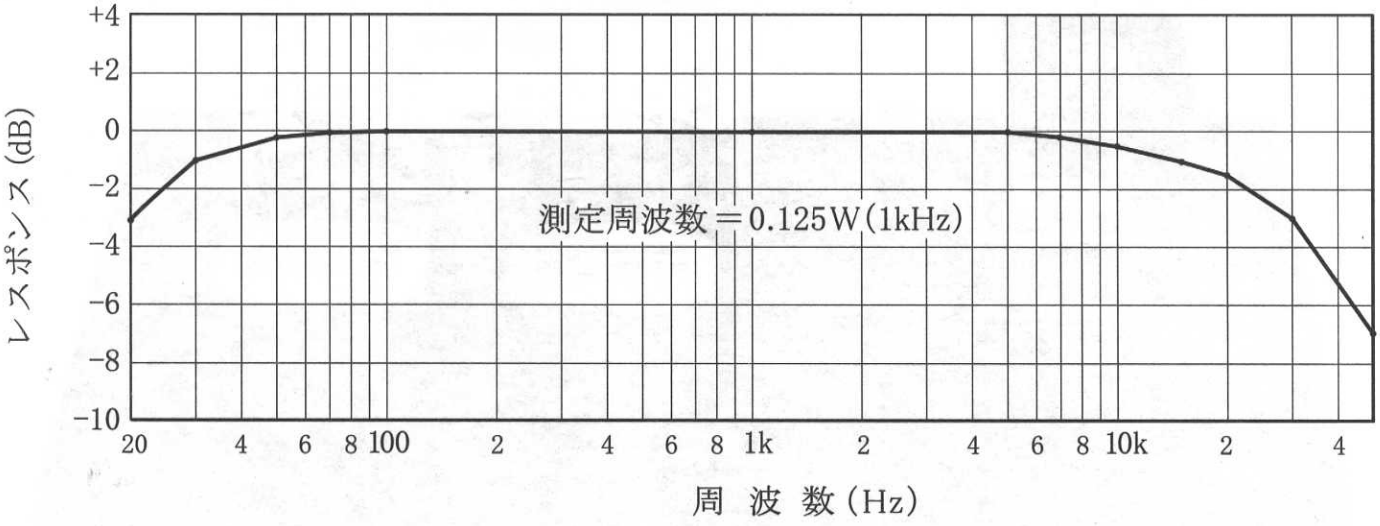
どかヴァイオリン・リサイタル」(RGH-001). NPO 法人「龍ケ崎ゲヴァントハウス」の自主制作 CD である.「龍ケ崎ゲヴァントハウス」については以前「オーディオ徒然草」で紹介したことがあるクラシック音楽愛好家団体で, 2013年5月に茨城県から NPO 法人の認証を得た. この CD は NPO 法人認証記念に開かれた演奏会のライブ録音である.

ヴァイオリンの白上 冴 (しらがみさえ)はサンフランシスコ音楽院, クリーヴランド音楽院大学院に学び, 現在名門クリーヴランド管弦楽団に所属している. ピアノの吉田まどかは桐朋学園大学からドイツの国立デトモルト音楽アカデミーに留学, ドイツ国家演奏家試験で最優秀賞を得て卒業. 欧米各地と国内で活躍している.

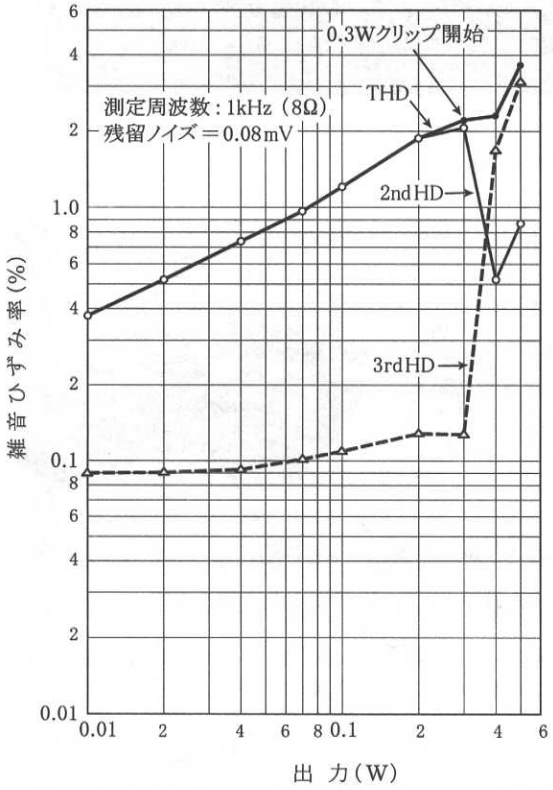
リサイタルは茨城県つくば市の「アトリエ・ド・ダルクローズ」で2013年12月22日に開かれた. 録音は元日本フォノグラム録音部のエ



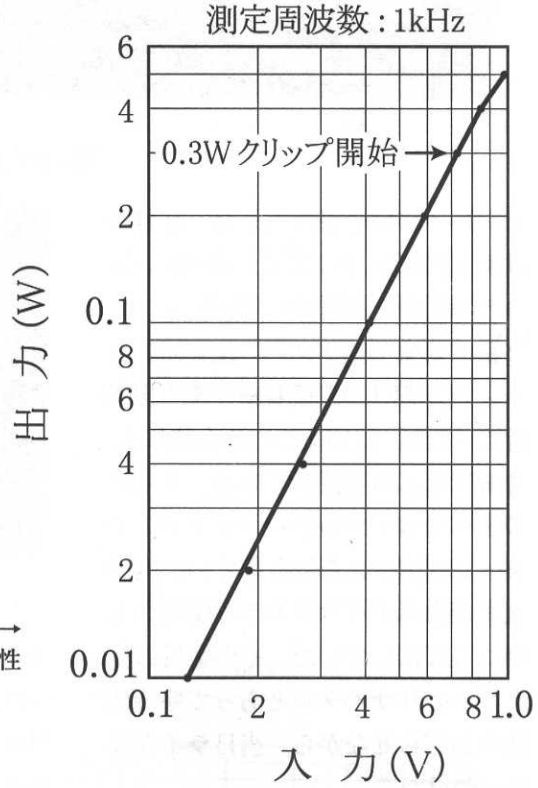
◆今回使用したノグチトランスのファインメット・コア・トランス FMMT-60016 のメーカー発表規格



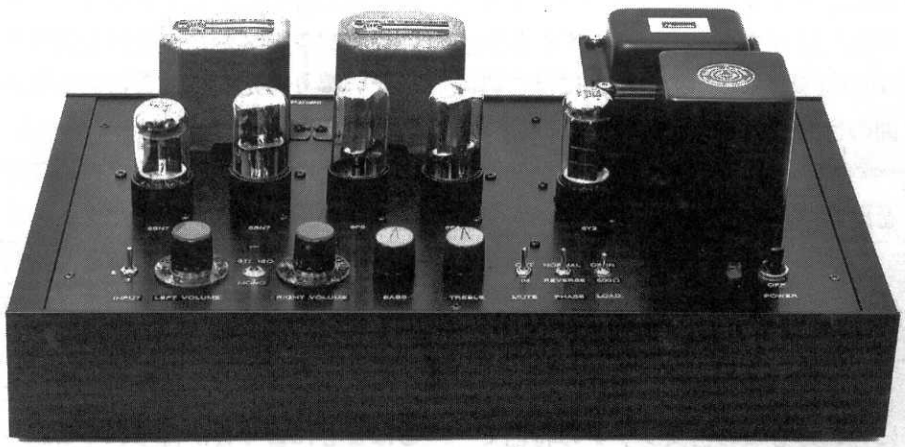
〈第3図〉本機の周波数特性



←〈第2図〉
本機の雑音ひずみ率特性



〈第4図〉→
本機の入出力特性



◆正面から見た6F6パワー・アンプ

たいへん気に入った.

上記のCD頒布のお知らせ

NPO法人龍ケ崎ゲヴァントハウス制作のCD「白上 冴ヴァイオリン・リサイタル」は下記の要領でお求めになれます.

(1) インターネット環境をお持ちの方は, NPO法人龍ケ崎ゲヴァントハウスのホームページ（http://gewandhaus.okoshi-yasu.com/）に記載された方法によりe-mailでお